



浪江町公式
フェイスブック



浪江町公式
インスタグラム



浪江町公式
エッグス



なみえ
チャンネル



なみえ創成
ブログ

まちのわだい

2/18 (日) 浪江町の夜空を貫く 光のモニュメント

八幡山正西寺において東日本大震災および原発事故における鎮魂と地域再生への願いを込めて、サーチライトで夜空を照らす光のモニュメントが開催されました。

晴夜となった当日、空の暗闇を照らす3本のサーチライトと足元に燈色の優しい明りが灯され、正西寺は幻想的な雰囲気包みこまれました。

空に照らされたサーチライトを見上げる人や写真や動画を撮影する人、光が語る物語に思いをさせる人など思い思いの時間を過ごしました。



写真提供 Link Films

2/18 (日) 地域の豊漁や豊作を願う 安波祭

再建された若野神社において海の安全や豊漁・豊作を願い、300年以上前から続く祭事「安波祭」が初めて開催されました。

青空の下、町内外から集まった約300人を前に、境内では請戸芸能保存会による神楽が披露されました。また、12人の踊り手が赤・青の色鮮やかな衣装を身にまとい「請戸の田植踊」を13年ぶりに奉納しました。



再建された若野神社に多くの人が集まる



無病息災を願って頭をぶつくと一瞥み



再建した社殿の前で奉納された請戸の田植踊

2/22 (金) なみえ創成小学校 校内なわとび大会

高学年の児童が先生と協力して行った校内なわとび大会で、何事にもチャレンジしてきたなみえ創成小学校の児童「なみえっ子」が保護者の前でこれまでの練習の成果を披露しました。

設定した時間を跳び続ける「持久跳び」、難しい跳び方に挑戦する「チャレンジ跳び」、チームに分かれて友達と協力しながら跳ぶ「長縄跳び」に挑戦した「なみえっ子」たち。身体のパネを使いながらリズム良く跳んだり、跳ぶ高さや縄を回すスピードを調整しながら頑張る姿が印象的でした。



チャレンジ跳び!



しっかりと縄を見て飛べました



長縄跳びはリズム良く

2/28 (水) なみえ創成中学校 震災講話

なみえ創成小学校の佐藤信一先生を講師にお迎えして、震災講話を実施しました。

佐藤先生は震災当時、津波で壊滅的な被害を受けた請戸地区から教員・児童が全員無事に避難できるような子供たちを連れて避難活動を行った当事者の一人です。

講話では、震災前の浪江町の様子から震災当日の出来事、避難状況や復興の道のりなど貴重な写真や資料を交えながらお話いただきました。いつ起こるかわからない災害に、普段から防災意識を高くもって生活をすることの重要性を学びました。



講話を聴いて防災を考える

2/14 (水) 祝百歳 節目を祝う 百歳賀寿のお祝い

山田トヨ子さん(大堀)が、めでたく満100歳のお誕生日を迎えました。

賀寿を記念して、浪江町から賀寿賞状とお祝い金、県から賞状と記念品が贈られ、長寿を祝いました。

今回、長生きの秘訣をお伺いしたところ「好き嫌いなくよく食べること。また、お話することが好きなので、周りの人と楽しく過ごしていること」と教えていただきました。

これからも益々のご長寿をお祈りします。



祝福に囲まれた百歳の誕生日



浪江町公式
フェイスブック



浪江町公式
インスタグラム



浪江町公式
エッグス



なみえ
チャンネル



なみえ創成
ブログ

3/2 (土) 早春の浪江に芸能の花が咲く 浪江町芸能祭

秋桜アリーナにおいて浪江町芸術文化団体連絡協議会(会長 志賀雄一さん)の主催で浪江町芸能祭が開催されました。震災後も避難先で活動を続けてきた13の芸能団体が民舞踊、YOSAKOI演舞、楽器演奏、民謡、合唱などを披露したほか、町内で活動している皆さんが、習字や絵手紙などの作品展示や日頃の成果を発表しました。

フィナーレに登場した太鼓奏者の葛西啓之さん(牛渡)率いる和太鼓グループ彩(さい)と太鼓浪音による迫力ある太鼓のステージに会場は盛り上がりました。



2/20 (水) なみえアベンジャーズも参加 ブンケン歩いてゴミ拾いの旅

晴天に響いた“希望のカケラ”の掛け声とともに始まったゴミ拾いは、郡山市出身で俳優の鈴木文健さんを始め、地域おこし協力隊の古山宏明さんとなみえアベンジャーズの皆さんが参加しました。

3月11日(月)、福島中央テレビの夕方ワイド「ゴジてれchu!」の人気コーナー「ブンケン歩いてゴミ拾いの旅」において、浪江町内にポイ捨てされたゴミを拾い集める様子が放送されました。放送されたゴミ拾いの様子は、YouTubeの中テレ公式チャンネルで視聴できます。



動画の視聴は
ウェブへ



ポイ捨てされたゴミを拾うブンケンさん



大きいポイ捨てでゴミ発見したマッスルマン



希望のカケラ集めたぞー

2/25 (日) 美しい桜が咲くよう願いを込めて 請戸川リバーライン桜の手入れ

請戸川リバーラインにおいて絆さくらの会(会長 小黒敬三さん)とボランティアによる桜の手入れが行われました。当日は、高所作業車を使って、てんぐ巣病にかかった枝などの剪定作業、草刈りやゴミ拾いが行われました。

請戸川沿いには120本のソメイヨシノが1.5キロにわたって続き、春のやわらかな日差しと共に満開を迎えます。見事な桜並木を見に、ぜひ足を運んでみてください。



請戸川リバーラインを綺麗に保つ草刈り作業



てんぐ巣病にかかった枝の除去作業



2023年4月11日撮影
請戸川リバーライン 満開の桜